

主宰作品

染谷 秀雄

夕 桜

初午の日のあたたかき神楽坂  
どの枝と云はずに零れ梅の花  
大いなる氷流れてゆきにけり  
留まりてまた流れたる浮氷  
吊雛の揺るるともなく揺れにけり  
開け閉てのたびのさ揺れや吊し雛  
春障子開けて風ある長廊下  
楓の芽七日の昼の月高く  
一片も散らざる翳り夕桜  
下枝へと日の廻り来る夕桜